

まだらの風



令和7年9月22日
学校便り No.10
校長 原口 真

『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

9月にはいって体育の授業はダンスの授業を実施しています。ステップやポーズなどの振付を自分たちで考えてダンスを構成します。チームに分かれてそれぞれ工夫をこらし、リズムにのった演技と笑顔を披露しています。

市職員との懇談会～唐津市の未来を考える

9月9日、唐津市役所から新唐津市文化会館をつくるプロジェクトチームの3名が来校されて、中学生6名と懇談会を行いました。若い世代の意見を取り入れて文化会館の利用を促進することがねらいです。馬渡島のいいところや自分たちの好きなこと等、終始リラックスした雰囲気の中で情報交換が行われました。子どもたちが呼んでもらいたいアーティストの人気ナンバーワンはMrs. GREEN APPLEでした。実現したらみんなで観にいきたいですね。



夢プレ朝会～子どもたちの夢プレゼンスタート！

9月10日、夢プレ朝会を行いました。2学期からは児童生徒による夢プレゼンが始まり、今回は中学生3人が「建築家をめざす」「起業する」「生涯にわたりスポーツを楽しむ」などそれぞれがめざす仕事像や生き方について堂々とした発表が行われました。めざすのは「なぜか」や実現に向けて「どうするか」を具体化して自分のことを語る姿は堂々としたものでした。発表の後には「いいね！カード」による承認を通してお互いの良さを認め合うことをめざします。夢プレ朝会は毎月1回行い、すべての子どもたちが発表します。



原子力避難訓練・不審者対応避難訓練

9月16日、原子力避難訓練と不審者対応避難を実施しました。不審者対応避難訓練では、児童生徒の避難方法と、さすまたを使った職員による不審者への対処法の訓練を行いました。さすまたで成人男性を押さえるのは相当な力とコツが必要なことが実感できました。唐津警察署生活安全課と島の駐在所の警察官の方に指導助言をいただき、充実した訓練を行うことができました。児童生徒は真剣に避難訓練に参加しました。職員が臨機応変に対応する大切さが実感できる訓練でした。



租税教室～1億円を持って税金の使われ方について学びました

9月19日、唐津税務署から講師の方をお招きして、小学5年生から中学生を対象に租税教室を行いました。税金の種類がいくつあるのか、どのような使い方をされているのか説明を受け、もしも税金がなかったらどんな世界になるのかビデオ視聴をとおして考えました。税務署員さんが持ってこられた1億円の札例をもって、子どもたちはその重さに驚いていました。中学生が「50種類もの税があることに驚いた。税金があることで私たちの暮らしは支えられているのもっと学んでいきたい」とお礼の言葉を述べました。馬渡島に1億円あったら、子どもたちはどんな使い道を考えてでしょうか。



自然災害に備える～消防団の方から地域防災を学びました

9月22日、小学校4年生の社会科の授業に馬渡島消防団の大谷さんと山下さんを講師にお招きして、自然災害に備える地域の取組みについてお話をいただきました。馬渡島で被害が多いのは台風が主であること、過去には大きな土砂崩れで道がふさがれたこともあったこと、災害発生時には鎮西市民センターの指令を受けて消防団が出動することなどを教えていただきました。その後防災センターや消防倉庫などを訪れて、地域の防災施設の実態について学びました。

